

2022年9月27日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・アールジャパンホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長・CEO 寺 下 史 郎
(コード番号：6035、東証プライム)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 藤 原 豊
(TEL. 03-3519-6750)

当社グループの情報管理体制等の改善策及びガバナンス体制の強化に関するお知らせ

当社は、2022年8月30日付「調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、調査委員会の調査結果及び提言を真摯に受け止め、当社グループの情報管理体制等の改善策及びガバナンス体制の強化の実施状況につきまして下記のとおりご報告いたします。

お客様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。当社グループは、グループ一丸となって改善策を着実に実施し、また継続的に施策のモニタリング・見直しを行っていくことにより、情報管理体制等を改善及び強化するとともに、当社グループのガバナンス体制の向上に努めてまいります。

記

1. 調査委員会による提言の概要

調査委員会による提言の概要は以下のとおりです。詳細につきましては、2022年8月30日に公表いたしました調査報告書をご覧ください。

(1) 当社グループの情報管理に係る体制等に関する提言

- ① 情報管理体制の改善・強化として、アクセス権限管理の徹底、情報の開示範囲の制限の徹底及び情報の持出しを防ぐ仕組みの強化
- ② インサイダー取引防止のための研修及び教育の徹底
- ③ 内部通報制度の充実

(2) 当社の業績予想値の算出及び公表に係る体制等に関する提言

- ① 業績予想値の非公表を含めた開示方法の検討
- ② 社内規程と実務との乖離の是正
- ③ 業績予想値の算出及び修正の要否の検討に係るプロセスの透明化
- ④ 業績予想値の算出及び修正の要否の検討に必要な情報の集約
- ⑤ 取締役会における監視・監督機能の実効性確保

2. 改善策の検討過程

上記調査委員会による提言を受け、改善策の検討及び今後のガバナンス体制強化のために、2022年8月30日以降、本日までに取り締役会を5回、監査等委員会を6回開催いたしました。

また、取締役会及び監査等委員会とは別に、監査等委員である独立社外取締役*と社内事務局との意見交換会を5回開催し、改善策の具体的な内容を検討・実行しております。加えて、改善策の内容の検討や社内規程の改定にあたっては、外部法律事務所の助言も受けております。

*独立社外取締役は当社3名、連結子会社2名の計5名の全員が参加して検討・助言を受けております。

3. 改善策の実施状況

上記調査委員会の提言内容を踏まえた当社の改善策の実施状況については以下のとおりです。

(1) 当社グループの情報管理に係る体制等の改善・強化について

① 情報管理体制の改善・強化について

(i) アクセス権限管理の徹底について

当社グループのファイルサーバー及びクラウドストレージ上には、用途ごとにアクセス権限を設定したフォルダを設置し電子データを保存しておりますが、各フォルダのアクセス権限が必要な役職員のみに設定されているかの確認を実施し、部署異動をした役職員のアクセス権限を削除するなどアクセス権限管理の精査を実施しました。

役職員の部署異動に伴うアクセス権限管理については、業務の急拡大に加えコロナ禍による社内の大規模なシステム化に伴う情報システム部員の不足により対応が遅れたことも要因であったことを受け、今年度中を目途に、複数名の情報システム部員の採用を予定しており、安定的なアクセス権限設定管理を可能とするよう、適切な人材の登用、人員配置を行ってまいります。また、アクセス権限管理については、役職員ごとのフォルダのアクセス権や部署異動・入退職時のアクセス権限変更履歴のデータベース化についても実施する方向で検討を進めてまいります。

(ii) 情報の開示範囲の制限の徹底について

取締役会、営業会議、朝会等の各会議体で共有すべき情報の整理を実施し、情報管理の徹底の観点から特に、毎週開催される主要役員及び営業担当の社員が集まる朝会では、当社グループの業績見通し等に関する資料の配布は一切行わないこととし、個別案件の進捗状況報告においては、秘匿性の高い案件に関する報告を行わないことをあらためて周知徹底しました。また、朝会の開催形式については、リモート会議の形式では実施せず、会議室での出席のみとする形式を継続するとともに、会議資料についても、各出席者はアクセス権限が設定された社内サーバ内のデータを閲覧するのみとし、資料の配布は一切行わないことを徹底いたします。

(iii) 情報の持出しを防ぐ仕組みの強化について

お客様の情報を含む機密情報の漏洩防止を強化するため、アクセス権限が極めて限定的に管理されている電子ファイルやサーバのアクセスログの解析や電子メールの送受信ログの解析を実施しました。また、電子メールやサーバのアクセスログのモニタリングを毎月実施することを全役職員へ通知いたしました。今後は、情報管理に係る体制を改善・強化するため、グループ内部監査室による電子メールやサーバへのアクセスログの監査等についても実施していく予定です。

② インサイダー取引防止のための研修及び教育の徹底について

インサイダー取引防止のための取組について、インサイダー取引防止に係る規程を見直すとともに、その内容を周知徹底いたしました。また、当社グループの社外取締役を含めた全ての役職員を対象としたインサイダー取引規制に関する研修を実施し、研修終了後に各人の理解度を深めるべく、効果測定としてチェックリストを利用した習熟度確認を実施いたしました。今後も、少なくとも年1回外部の講師を招聘しインサイダー取引規制に関する研修を実施し、当社グループのインサイダー取引防止に関するルールの周知徹底を行ってまいります。

また、これまでは各規程改定の際、規程改定の事実を伝えるのみであったところ、今後業務を遂行するにあたり重要な規程の改定については、規程改定の事実を伝えるだけでなく、規程改定の要旨を新旧対照表とともにグループウェアに掲示するとともに、規程改定のポイントについて朝会での役職員への説明や、各部門長を通じた役職員への周知徹底も行ってまいります。

③ 内部通報制度の充実について

内部通報制度について、より実効性を高めるため、通報者の匿名性や機密性を確保し、通報したことで不利益が及ばないように社内規程で明確化しました。通報があった場合においては、通報者の保護を徹底しつつ、通報された事象について調査し、是正措置とフォローアップを実施してまいります。また、今後の通報受付にあたっては、通報者の匿名性や機密性を確保するため、外部の法律事務所を通報窓口として設置することといたしました。加えて、内部通報制度が十分に利用されていなかった事実を踏まえ、全役職員が閲覧するグループウェアのトップ画面へ当該通報先窓口を明示するとともに、全ての役職員に対して内部通報制度に関する周知徹底のための研修も少なくとも年1回実施してまいります。

(2) 当社の業績予想値の算出及び公表に係る体制等の改善・強化について

① 業績予想値の非公表を含めた開示方法の検討について

当社グループにおいては、今後当面は原則として、受注案件の件数や規模について、確度の高い見通しを立てることが難しい期初段階では業績予想値の算出は行わないことといたしますが、期中での当社グループの業績予想値の算出及び公表に係る検討を行うため、グループ予算管理の統括責任者である経営企画部長を議長として、各グループ会社の事業部門責任者その他適切なメンバーにより構成されたグループ予算・業績検討会議を開催し、必要な情報を収集、集約することで、当社グループの業績動向や、市場環境の推移、受注又は受注が見込まれる各大型案件の具体的内容等を踏まえ、当社の業態にあった開示方針を検討してまいります。

当連結会計年度（2023年3月期）の業績予想値は、受注案件の件数や規模について、確度の高い見通しを立てることが難しいため公表を行っておりませんが、今後、前連結会計年度の実績値と当連結会計年度の決算見込数値において開示すべき差異が生じた場合には、速やかに開示できるよう、グループ予算・業績検討会議において検討してまいります。

中長期的には実績値の積み上がり及び当社グループの業態を踏まえ、業績予想値の算出及び公表の可否並びにどのような算出方法がより適切であるかにつき、引き続き検討してまいります。

② 社内規程と実務との乖離の是正について

業績予想値の算出及び公表については、今般、業績予想値の算出及び公表に係る検討を行う機関として、グループ予算・業績検討会議を新たに設置し、そこで予算編成や実績の管理、修正の要否等を検討することとし、これに合わせて社内規程も修正いたしました。

グループ予算・業績検討会議は、営業部門責任者を中心とする案件進捗報告等の場であった営業会議とは別の会議体として設置するものであり、営業状況の進捗については引き続き営業会議で確認を行ってまいります。

兼務が問題とされていた経営企画部長のポジションに、グループ全体の事業及び経営を熟知する経験豊富な専任の要職者（取締役）を配置するとともに、組織体制、とりわけ管理体制を強化するべく管理部門人材の積極的な確保を開始しております。これにより迅速な業務遂行を可能にするとともに、仮にイレギュラーな事象が発生した際にも柔軟な対応を行うことが可能となります。

③ 業績予想値の算出及び修正の要否の検討に係るプロセスの透明化について

前述のとおり、業績予想値の算出及び公表に係る検討を行う機関として、グループ予算・業績検討会議を設置し、かかる会議体において、予算編成や実績の管理、修正の要否等を検討することとしたほか、このグループ予算・業績検討会議においても議事録を作成するとともに、事後的な検証に耐え得るように検討過程を具体的に明らかにした資料を作成し、議事録とともに保管することといたします。

④ 業績予想値の算出及び修正の要否の検討に必要な情報の集約について

業績予想値の算出及び修正の要否の検討を行うグループ予算・業績検討会議においては、各グ

ループ会社の事業部門責任者をその構成員の中心として位置づけ、検討に当たり必要となる情報が漏れなく集約される体制としております。

また、業務マニュアルを再度見直し、経理システム（OBIC）に登録する基準を明確化し、業務に携わるすべての従業員に周知してまいります。これらの取組により、各事業部門長により、業績予想値の算出及び修正の要否の検討を行うために必要な情報がグループ予算・業績検討会議に漏れなく集約される体制となっております。

4. ガバナンス体制の強化

当社グループにおきましては、この度お客様をはじめとする関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことを鑑み、上記調査委員会からの提言を踏まえた改善策に加え、当社指名・報酬諮問委員会からの答申内容も踏まえ、当社グループの企業価値向上に向けた今後のガバナンスの在り方について審議・検討した結果、権限の分散を組織的に推進すべく以下の施策も実施することといたしました。

（1）株式会社アイ・アール ジャパンホールディングスの役員等の異動について

前述のとおり、兼務が問題とされていた経営企画部長のポジションに専任の要職者（取締役）を配置するとともに、役員等を以下のとおり変更いたします。

■株式会社アイ・アール ジャパンホールディングスの役員等の異動

新役職名	異動日付	氏名	現役職名
取締役経営企画部長	2022年9月27日	藤原 豊	取締役管理本部長
管理本部長兼人事総務部長	2022年9月27日	若菜 行紀	人事総務部長
（辞任による退任）	2022年9月27日	古田 温子	常務取締役経営企画部長

（2）株式会社アイ・アールジャパンの役員等の異動について

当社グループの代表取締役社長・CEOである寺下史郎が子会社である株式会社アイ・アールジャパン及び株式会社 J01B の代表取締役社長・CEOを兼務しておりましたが、当社指名・報酬諮問委員会からの答申内容も踏まえ、グループ各社の役割分担を明確化し、主要な子会社における独立性を確保する観点から、株式会社アイ・アールジャパンの代表取締役を含む役員等を以下のとおり変更いたします。

なお、2021年2月に設立した投資銀行専門子会社である株式会社 J01B は、資本市場における一定のプレゼンスを確立する時期であるため、寺下史郎が代表取締役社長を継続しておりますが、後継者の育成が出来ましたら引き継ぐ予定です。

■株式会社アイ・アール ジャパンの役員等の異動

新役職名	異動日付	氏名	現役職名
取締役	2022年11月1日	寺下 史郎*	代表取締役社長・CEO
代表取締役社長	2022年11月1日	北村 雄一郎	常務取締役
取締役副社長	2022年11月1日	石垣 昭之輔	常務取締役

取締役企画本部長	2022年9月27日	藤原 豊	取締役管理本部長
管理本部長兼人事総務部長	2022年9月27日	若菜 行紀	人事総務部長
エクイティ・コンサルティング 本部長	2022年9月27日	河西 琢真	エクイティ・コンサルティング 第一本部長
(辞任による退任)	2022年9月27日	古田 温子	常務取締役企画本部長 エクイティ・コンサルティング 統括本部長

*寺下史郎は新体制への円滑な移行を行うため 2023 年 6 月までは取締役として在任しますが、2023 年 6 月開催予定の定時株主総会終結の時をもって株式会社アイ・アールジャパンの取締役を退任する予定です。

(3) 取締役会における監視・監督機能の実効性確保について

取締役会資料の配布を原則として会日の3日前までに行うことに加え、出席役員に対し検討過程や判断根拠など検証可能な資料に基づいた具体的な説明を事前に可能な限り行うなど、出席役員が十分に検討を行うに足りる時間的余裕を確保することで、取締役会の監視・監督機能の実効性を確保してまいります。

取締役会が本来持つ監視・監督機能を十分に発揮するため、事務局の運営を担う管理部門の人材を早期に確保し、体制の一層の強化を進めてまいります。

また、当事業年度より、取締役会の実効性評価についても、従前の第三者機関によるアンケート方式から第三者機関によるインタビュー方式に切り替えて実施いたします。

以上